

平成31年度 予算の概要

「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」の実現に向けて

宇佐市ではこれまで、住んでよし、訪れてよしのまち「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指し、各種施策を展開してまいりました。

特に本年は、市政活性化の拠点となる本庁舎や安心院地域複合支所がいよいよ完成する運びとなっており、徐々に施策が形となってきています。依然として地方を取り巻く環境は少子高齢化や大規模自然災害への対応など引き続き厳しい状況にありますが、将来人口5万人を維持するとともに、グローバル化や人づくり・情報化にも対応するなど、改元による新時代にふさわしい宇佐市発展の礎を築きたいと考えております。



■ 予算について

平成31年度当初予算の編成に当たっては、これまで取り組んできた施策効果の検証と進化を図るとともに、人口減少問題、大規模自然災害、グローバル化、技術革新・情報化などの新たな政策課題についても積極的に盛り込んだところです。

具体的には、子ども医療

費軽減などの「地方創生対策」、防災情報システム整備などの「安心確保対策」、宇佐神宮周辺の街なみ環境整備、両合棚田の保全関連事業などの「地域の特色を活かしたまちづくり」に重点を置き編成しました。

さらに外国人労働者の受入・共生の環境づくりやICT活用など新たな課題への挑戦や、消費税率引き上

げを見据えた支援策についても積極的に計上しました。

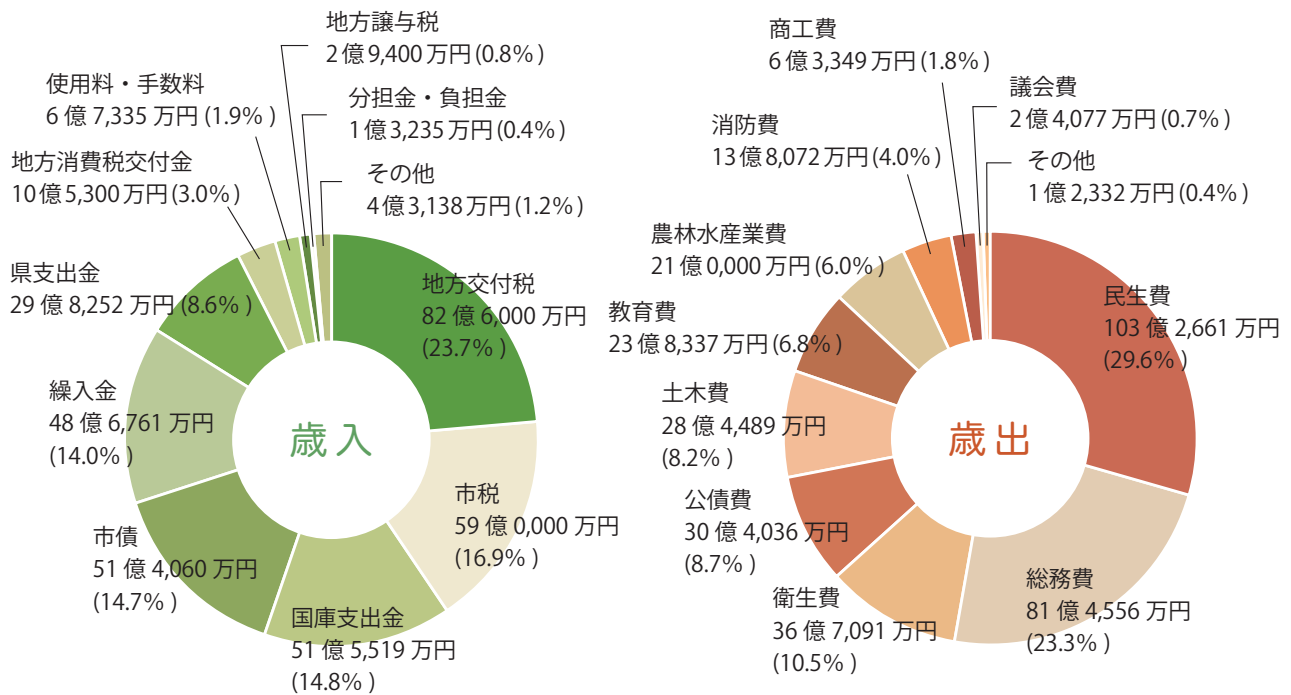
これらを踏まえた平成31年度的一般会計予算の規模は348億9,000万円となり、新庁舎建設事業などの増加により前年度と比較して28億1,500万円、8.8%の増額で合併後最大の予算規模となっています。

一方で、合併特例措置の終了にともない普通交付税

が段階的に減少していくことや、今後本格化する公共施設老朽化関連および社会保障関連事業費の増加に備え、引き続き行財政改革にも取り組んでいかなければなりません。今後も国・県の政策動向を注視するとともに、予算のさらなる選択と集中を進め、健全財政の枠組みの中で各種事業を戦略的に展開してまいります。

予算規模

一般会計 平成 31 年度予算額 348 億 9,000 万円



特別会計 平成 31 年度予算額 166 億 660 万円

会計区分			(前年度比)
国民健康保険	71 億	6,000 万円	▲0.3%
介護保険	64 億	6,390 万円	2.5%
農業集落排水事業	2 億	6,710 万円	▲6.0%
公共下水道事業	18 億	990 万円	15.3%
特定環境保全公共下水道事業	1 億	4,860 万円	▲15.9%
後期高齢者医療	7 億	5,710 万円	▲0.2%

平成31年度 主な事業

人口減少に歯止めをかける地方創生プラン

子ども医療費助成事業 1億6,957万円

保護者の経済的負担の軽減と、疾病の早期発見・治療を促し、子どもの保健向上を図ります。未就学児の通院費助成などのほか、7月からは小中学生の通院などについても助成を行います。

企業誘致支援費 9,500万円

工業の振興と雇用機会の増大をめざし、市内に工場などを設置した企業に対して奨励金を交付します。

「うさ暮らし」移住満足度100%事業 2,904万円

空き家の解消や移住者による地域活性化をめざし、移住希望者の受入体制づくりや移住相談会などでのPR活動を行います。

6次産業創造関連事業 1,465万円

グルメや逸品などの創出と消費拡大による地域経済の活性化をめざし、地域商社の設立による新たな販売体制の構築に向けた調査研究を行います。



- | | | | |
|--------------|-----------|----------------------|---------|
| ・中学校エアコン整備事業 | 1億3,497万円 | ・予防事業（大人の風疹） | 1,624万円 |
| ・すくすく子育て祝金事業 | 5,851万円 | ・農業参入企業支援事業 | 800万円 |
| ・有害鳥獣捕獲事業 | 4,209万円 | ・東京オリンピック等事前キャンプ誘致事業 | 623万円 |

大規模自然災害等に備える安心プラン

新庁舎建設事業 34億9,399万円

本庁舎が抱える耐震脆弱性、老朽化、窓口分散、防災拠点としての機能不足などの諸課題を解決するため、新庁舎整備を行います。

安心院地域複合支所建設事業 12億484万円

老朽化が進む安心院支所を、耐震基準の満たす便利で安全な複合施設へ建て替えます。

防災情報システム整備事業 3億8,213万円

電波法改正により使用期限が定められた現行のアナログ方式の防災無線をデジタル方式へ更新します。

社会資本整備総合交付金事業（橋梁等補修） 1億8,000万円

社会資本整備総合交付金を活用して、橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の点検・補修を行うなど、市内の交通体系の整備を図ります。



- | | | | |
|--------------------|-----------|----------------|-------|
| ・公営住宅ストック総合改善事業 | 1億3,859万円 | ・地域防災計画等整備事業 | 557万円 |
| ・消防力強化事業 | 9,218万円 | ・老朽危険家屋等除却促進事業 | 500万円 |
| ・避難所機能・市民避難力強化推進事業 | 877万円 | ・安心安全みまもり灯設置事業 | 300万円 |

特色を活かしたまちづくりプラン

街なみ環境整備事業（宇佐地区） 3億7,518万円

勅使街道を軸とした周辺エリア一帯に歴史と緑が調和した景観を形成し、宇佐市の観光の顔としての整備・保全を図ります。

JR柳ヶ浦駅周辺整備事業 2億118万円

周辺道路網の整備を進め、柳ヶ浦駅周辺の拠点性の向上や賑わいの創出をめざします。

都市計画道路 上田四日市線整備事業 1億6,369万円

国道10号線の混雑解消のため、上田四日市線の現道拡幅や一部区間新設を行い、自動車交通の円滑化や歩行者の安全を確保します。

世界農業遺産保全関連事業（両合棚田） 697万円

世界農業遺産に認定された農村の景観・伝統などの価値を後世へ受け継ぐため、両合地域に設けた交流拠点施設の整備、棚田や水路の保全を行い、交流人口の増加を図ります。



- | | | | |
|------------------------|-----------|----------------------|---------|
| ・社会資本整備総合交付金事業（歩道改良関連） | 1億5,351万円 | ・国道沿線地域複合施設整備事業 | 2,775万円 |
| ・宇佐海軍航空隊跡保存整備事業 | 7,186万円 | ・寄藻川プロムナード整備事業 | 2,684万円 |
| ・岳切溪谷キャンプ場施設整備事業 | 2,859万円 | ・家族旅行村「安心院」エリア施設整備事業 | 2,135万円 |

新たな政策課題への挑戦（グローバル化・人づくり・情報化への対応）

農業競争力強化事業（TPP等対策） 7,056万円

農業者の経営規模拡大に向けた整備や機械などの導入に対する支援を行い、農業の競争力・体質の強化を図ります。

宇佐市民図書館IC化事業 4,496万円

図書館資料にICタグを付け、貸出・返却のセルフ化を行い、業務の効率化や利用者の利便性の向上などを図ります。

教育用ICT環境整備事業 2,556万円

小中学校の教育システムのセキュリティ向上を図るとともに、パソコン機器の更新やタブレットの整備を行い、情報活用能力を育成します。

インバウンド等受入体制整備事業 985万円

インバウンド対応のほかラグビーワールドカップなどの開催を見据えた受入体制を整えるため、観光地へのフリーWi-Fi設置や多言語対応パンフレットなどを整備します。



- | | | | |
|-------------------------|---------|------------------|-------|
| ・住民票・印鑑証明コンビニ交付事業 | 1,464万円 | ・クラウドファンディング支援事業 | 220万円 |
| ・中学生・高校生短期留学事業 | 962万円 | ・Uターン者奨学金返還支援事業 | 190万円 |
| ・タブレットPC導入事業（ペーパーレス化推進） | 659万円 | ・語学教室・文化交流活動支援事業 | 120万円 |